

第74回しずない農業協同組合通常総会

全5議案原案通り可決される



4月14日、新ひだか町公民館において「第74回しずない農業協同組合通常総会」が開催されました。今年度の総会につきましては、一昨年度から引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、原則として書面での議決に協力を頂き、来賓各位を

お招きせず開催致しました。

冒頭では、片岡博代表理事組合長より「本総会につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染防止観点から来賓の出席を取りやめさせて頂いた事に対してご理解賜わりたくお願い申し上げます。さらに、地区別懇談会につきましても感染防止観点から中止せざるを得なかった事に対し重ねてお詫び申し上げます。

昨年は3年に1度の第30回JANA北海道大会が開催され北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」の達成と言う将来のビジョンが決議されました。JANAグループが改めて協同組合の原点である「対話」を通じて実践方策を設定し、実践と改善を繰り返す事で変化の波を乗り越える事がJA運営に必要であり組合員、役員員が一丸となりましてしつかり取り組んで行く事が重要となります。当JAにおいては、購買事業や販売事業、営農指導の強化、信用事業のサポートを中心に行って行きたいと思っております。

さて、当JAの昨年の概況ですが、大きな自然災害も無く好天に恵まれ順調な作業状況にありました。

水稲においては、作況指数が北海道で108、日高管内は109の良となり豊作の年となりました。出荷数量は、計画対比で115.9%、販売金額は、計画対比101%の6,951万円となりました。

ミニトマトは、夏場の猛暑の影響を受け計画対比97.5%の1,276.5t 単価は、663円/kgとなり販売金額は、計画対比93.8%の8億4,666万円となり収穫量の減少は、他の青果物においても同様の傾向となり全体で9億2,407万円という内容になりました。

酪農においても猛暑の影響により受胎率の低下や出荷乳量では、計画対比94.5%、販売金額は、94.3%の3億3,959万円となりました。

黒毛和牛につきましては、外食産業の停滞等もあり、販売価格が下がる事もありましたが、概ね堅調に推移しており、生産者の努力のお陰で販売頭数は、計画対比103.8%、880頭、販売金額で計画対比110.9%の6億4,095万円となりました。

軽種馬においては、いずれの市場も大変盛況のもととなり、売上総額145億3,859万円となり当JAでは、438頭で43億3,870万円昨年より27頭増加の平均価格は、990万6千円となりました。

また、昨年の中央、地方のG1競馬においては、第24回グランドジャンプでグランド牧場生産のメイショウダッサイ号、第82回オークスは、ビッグレッドファーム生産のユーパーレーベン号、第82回菊花賞では、岡田スタッド生産のタイトルホルダー号、第73回阪神ジュベナイルフィリーズでは千代田牧場生産のサークルオブライフ号がそして、地方競馬の第23回ジャパンダートダービーでは、オーナーブリーダーである城市公さん生産のキャットストツプ号が優勝しました。コロナ禍のなか静内産馬がG1競走で5勝の大活躍により組合員の明るい話題となりました。改めて生産牧場の皆様にお祝い申し上げ生産振興事業を中心に生産基盤の強化に協力して行きたいと思えます。

JA運営につきましては、東静内スタンド内に設置してありましたATMにつきましては、3月末を持ちまして廃止とさせて頂きました。また、期中には営農部門の連携強化に